



劇場版『涼宮ハルヒちゃんの憂鬱』超短編

アンソロジー

森野イブキ

劇場版『涼宮ハレヒちゃんの消失』（超短編）

朝、教室に入るとそこに、鈴宮ハレヒがいなかった。

キ1ン「珍しいな。あいつが俺より遅いなんてな」

？「キ1ン君、おはよう」

声はすれども、姿は見えず。

キ1ン「ん？・・・・・・・・どこかで聞いた事のある声だが？」

？「ここですよ、キ1ン君！」

キ1ンが後ろの席を上から覗き込むと、そこにはかつてのクラスメートがいた。

キ1ン「・・・・・・・・お前、ひょっとして浅倉亮子か？！・・・・・・・・にしても、ちっちゃいな！！」

あちゃくりさん「それは言うな――！」

あちゃくりさん、必死のキック。無論、届くはずもなく・・・・・・・・。

キ1ン「・・・・・・・・ハレヒがない以前に、お前の大きさの方が問題だろ！」

と、キ1ンがあちゃくれさんをつまみ上げる。

あちゃくれさん「こらあー！離せ〜！」

じたばたする、あちゃくれさん。

キ1ン「ダメだ、こりゃ〜！」

・・・・・・・・中途半端に終わる！

朝日奈みるく「わたし、出てないですう〜」（おたおたする、S A S団のマスコット）

小泉十樹「まったく、困ったもんです」（やれやれのポーズで）

長戸有紀「本編は、私がヒロインなのに・・・・・・・・出ていない」

鈴宮ハレヒ「本編でも出番、少なかったのに、何よこれは！作者は死刑だから！！」

・・・・・・・・ ホントに終わる！！(汗)

劇場版『涼宮ハルヒちゃんの憂鬱』特別編

<http://p.booklog.jp/book/47714>

著者：森野イブキ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/morinoibuki2012/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/47714>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/47714>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.